

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 15日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者
住 所 栃木県鹿沼市深程80番2
氏 名 (株)ふじや食品 関東工場
工場長 山崎 英雄
電話番号 0289-75-1231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)ふじや食品 関東工場
事業場の所在地	栃木県鹿沼市深程80番2
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業[E09]
② 事業の規模	製造品出荷額 48億円/年
③ 従業員数	220名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	○動植物性残渣(卵殻等) 処理業者(再生)へ委託(再生後は肥料として再資源化) ○廃プラスチック類 処理業者(再生・焼却)へ委託(再生後は固形燃料として再資源化、または処理後の燃え殻を最終処分)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項															
(管理体制図)															
<table border="1" style="margin: auto;"><tr><td colspan="4" style="text-align: center;">工場長(廃棄物統括責任者)</td></tr><tr><td colspan="2" style="text-align: center;">品質管理課(排水検査担当)</td><td colspan="2" style="text-align: center;">環境課(排水処理担当)</td></tr><tr><td colspan="4" style="text-align: center;">生産管理課(産廃担当)</td></tr></table>				工場長(廃棄物統括責任者)				品質管理課(排水検査担当)		環境課(排水処理担当)		生産管理課(産廃担当)			
工場長(廃棄物統括責任者)															
品質管理課(排水検査担当)		環境課(排水処理担当)													
生産管理課(産廃担当)															
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり													
	排出量	別紙のとおり	t												
	(これまでに実施した取組) (1) 工場長を中心に毎月目標を設け製品廃棄物の発生原因を追求改善し抑制を図った。 (2) 食品廃棄物で使えるものは再利用し減量化を図った。 (3) 商品開発と資材が連携し、廃プラ発生の抑制に取り組んだ。 (4) 生産過程で発生する廃プラの有価化再生化に取り組んだ。 (5) 腐植土他を利用し、汚泥の削減を図った。														
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり													
	排出量	別紙のとおり	t												
	(今後実施する予定の取組) ① 製造工程での不良軽減を図る ② 再使用率を高め廃棄量削減を図る ③ 動植物性残渣の減量化に取り組む。 ④ 汚泥の削減を推進する。														
産業廃棄物の分別に関する事項															
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① 動植物性残渣(卵殻) ②廃プラ類 ③有機汚泥 ④木屑 ⑤鉄等の分類を行い、他の廃棄物が混入しないよう保管している。														
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、廃プラ類を再分類、洗浄等することで、再資源化できるものと焼却分の分別化に取り組む。有償化も図る。														

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のおとり t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 動植物性残渣（汚泥）を脱水した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、動植物性残渣（汚泥）を酵素等で減量化に取り組む。 設備の更新を計画的に進め減量化を進めていく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 動植物性残渣を肥料化する業者に処理依頼している。 廃プラを固形燃料化している業者に処理委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き、動植物性残渣を肥料化する業者に処理依頼する。 引き続き、廃プラを再利用している業者に処理を依頼する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

